

令和2年度 教科シラバス（デザイン・アートコース）

教科	美術	科目	デッサンⅡ
単位数	4単位		
教科書	高校生の美術2（日本文教出版株式会社）	副教材	なし

学習目標

美大受験に向けてデッサンの技術力と観察力の向上を目的とし、技法と思想を中心に指導する。どのようにしたら応用が効くのか、自分自身で解決できるような基礎力と応用力を身につけさせ、自身で考えさせる時間、問題解決への考察などを授業の中心として指導をする。

学習内容

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<ul style="list-style-type: none"> ・クロッキーを繰り返す。モデルは、クラス内でローテーションする。人体の構造やクロッキーをする上での視点も教える。 ・モデルさんと呼び、人体デッサンを2枚完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・石膏像を中心にクロッキーを繰り返す。様々な角度から石膏像を描くことで、描く対象に対する理解が進むことを教える。 ・石膏デッサンを2枚完成させる。この時に順位を付け、優勝者のみ発表。デッサンを展示する。

学習方法

前期（4～9月）	後期（10～2月）
<ul style="list-style-type: none"> ・柔らかい鉛筆（4Bor5B）とクロッキー帳を用意し、クロッキーの基礎から教える。クロッキーは速写画である為、5分で1枚といった形が望ましいが、最初はよく人体を観察して欲しいので、10分、もしくは15分で1枚のクロッキーを完成させてもらう。その後、徐々に時間を短くし、人体構造の理解と、絵を描く瞬発力を身につけさせる。 ・デッサンでは、その集大成としてひたすらモデルさんを観察し、人体描写を徹底して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クロッキー帳に石膏像を描く。一つの石膏像の周囲を回るように何度も描き、多角からモチーフを観察することの大切さを学んでもらう。 ・鉛筆から得られる効果も教える。22種類ある鉛筆の使い分けに始まり、どのような場面でどの鉛筆を使ったら良いかの認識を身につけさせる。 ・石膏デッサンを2枚完成させる。胸像が望ましい。 ・一連を通して、道具の使用方法、観察の仕方を覚え、デッサン力の向上を図る。

評価方法

・出席時数、授業態度、理解を深めたか、成長の度合い、課題作品の完成度。